



行政ニュース

夢広場はるひ

保健だより

教室・講座

児童・子育てだより

フォトダイアリー

インフォメーション

## 一流選手との貴重な時間を楽しむ 7月18日(土)

市立図書館1階交流テラスにて、豊田合成バレーボールチーム・トレフェルサの3選手をお招きして、トークイベントが開催されました。昨年度Vプレミアリーグ3位に輝いた一流選手の生の声を聞こうと、小学生をはじめ43名の方が参加し、実演としてパスワークでの交流も行われました。このトークイベントの第3弾が、9月13日(日)に豊田合成バスケットボールチーム・スコーピオンズをお招きし、開催されます。



トークイベントの様子

## 全国大会優勝目指して 7月24日(金)

清洲少年野球クラブの選手の皆さんが市役所を訪れ、「キャッチボールクラシック2015東海大会」での優勝と12月に岡山県倉敷市で行われる全国大会出場を、加藤市長に報告しました。

この大会は、キャッチボールの正確さとスピードを競う9人1組のチーム競技で、2分間で何回キャッチボールができるかを競うもので、清洲少年野球クラブは、最高記録105回を叩き出し、見事に優勝を果たしました。

キャプテンを務める清洲小学校6年生の上野琉我くんは、「全国大会でも絶対に優勝したいです。」と、力強く語ってくれました。



清洲少年野球クラブの選手の皆さん

## 東海豪雨を忘れない 7月27日(月)

平成12年9月の東海豪雨の被害を知ることにより、防災への意識を高めるとともに、浸水被害を風化させず、後世に伝えるため、西枇杷島小学校において、「水害疑似体験会」が行われました。

西枇杷島小学校5年生60人は、スマートフォンのカメラ越しに映し出された現実の風景に、東海豪雨時の浸水深の擬似水位画像を重ねたVRスコープを覗き込み、臨場感あふれる様子を体験しました。



VRスコープを覗き込み、水害の疑似体験をする児童たち

## 海外の文化や歴史を肌で感じて 7月31日(金)

外国の文化、歴史、習慣などに触れ、国際感覚を養うことを目的に実施されている「清須市立中学校生徒海外派遣研修(行先:オーストラリアのシドニー期間:7月31日~8月7日)」の結団式が、研修への出発にさきがけ、清洲市民センターで行われ、参加する市内の中学3年生24名が出席しました。

結団式では、生徒を代表して春日中学校の加藤海成くんが出発報告をしました。



出発報告をする加藤海成くん



行政ニュース

夢広場はるひ

保健だより

教室・講座

児童・子育てだより

フォトダイアリー

インフォメーション

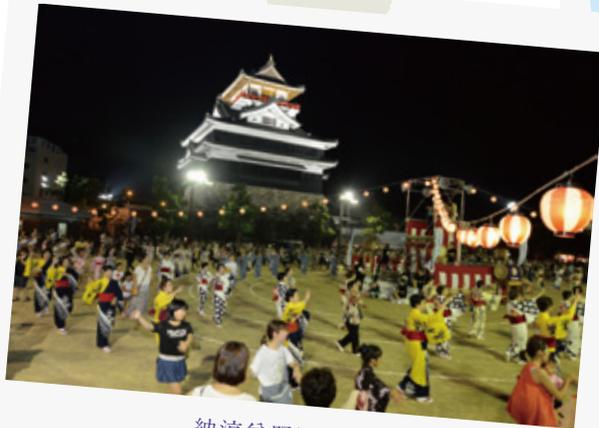


## 須の夏の風物詩

8月1日(土)・2日(日)

清須の夏の恒例行事「市納涼盆踊り」が、清洲城広場で2日間にわたり開催されました。

新しくなったLED投光器により、明るく照らされた清洲城を背に、輪になって「清須音頭」などを踊っていました。また、呼び込み太鼓の演奏、アイスキャンディーの配布、市商工会青年部による模擬店等も行われ、多くの人で賑わいました。



納涼盆踊りの様子



来場者でにぎわう市商工会青年部による模擬店



小田井児童館での啓発活動



## みんなで築こう 人権の世紀

8月3日(月)

人権尊重の大切さを知ってもらうために、市人権擁護委員の11名の方々が、市内の児童館で人権啓発活動を行いました。

委員の皆さんは、紙芝居などを使って、相手の気持ちを考え、思いやることの大切さを児童たちに伝えていました。



## 道による国際交流

8月10日(月)

第31回成田山全国競書大会において、応募数約13万点の中から「成田山貫首賞」を受賞した清洲中学校2年の加藤瑞菜さんが市役所を訪れ、加藤市長に喜びの報告をしました。

加藤さんをはじめ特別賞を受賞した15名は、「日中友好少年少女書道交流団」として中国の北京に8月4日～8日まで5日間派遣され、地元の子どもたちと一緒に書道をするなど、交流を図りました。

加藤さんは、「このような賞がもらえて、書道が続けてきて良かった。これからも続けていきたい。」と喜びの言葉を述べました。



加藤瑞菜さん(写真右)